

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

Comi-Navi



今年もやってきました冬コミ！
何かとあわただしい時期のコミケだけに、そこを元気で乗り越え、気持ちよく新年を迎えるためにも、準備と知識は大切なのです！！

■クイックリファレンス2004年度版■

コミケに参加するに当たって必要な情報や、『あれ、これってどういう決まりだったっけ？』というようなルールなどについてまとめてみた。

参加者として最低限、これだけは押さえておこう！

●大原則！『みんな参加者』●

コミケには『お客さま』という立場の人間は存在しない。

サークル出展して同人誌を頒布している人達も、その同人誌を入手しに来ている多くの人達も、コミケの屋台骨として立ち働いているスタッフもその立場は同じ『参加者』だ。

例えコスプレをしに来ているだけでも、コスプレイヤーの写真を撮影しに来ただけでも、企業ブースでの買い物だけが目的でも、単にコミケの空気を吸いに来ただけでも、来場した時点で例外なく、全員同じ『参加者』なのだ。この『参加者』とは一体どんな立場なのかと言えば、**コミケを問題なく成功させるための責任を負っている**ということ。

つまりは、最低限コミケの運営に支障が出るような行為はしてはならないということで、現在延べ50万人もの人間が訪れる場の中で、あなたは常にコミケの無事な開催と閉会までの責任を負いつづけているということでもある。

徹夜禁止をはじめとするコミケの数々の禁止事項はその責任の一端として全参加者に守ることが義務づけられているものであり、こういった目的であってもコミケに来た時点でそれを守り、コミケの運営に協力することを了承しているという意味を持つ。

大げさでも冗談でもなく、あなたの行為ひとつが直ちにコミケを中止に追い込む、次回以降開催不可能にしてしまう可能性を常に抱えているということをまず自覚した上でコミケに来てほしい。

●カタログはできるだけ1人1冊●

カタログは現在は強制購入ではなく、他のイベントのように入場券としての機能は持っていない。

しかし、カタログ冒頭に記載されている注意事項は**参加者全員に熟読し、理解する義務**が課せられており、また、コミケ参加サークル3万以上の中から自分のお目当てのサークルを探すためにも、カタログは必須のアイテムである。

そこで勘違いしてはならないのは、『同人誌を入手しにいくわけじゃないからカタログは必要ない』わけではない、ということ。

コミケのルールを守ることが全参加者に共通して求められる以上、そのルールそのものを知らなくてはとうにもならない。

カタログを購入する、ということは、コミケの参加者としての責任と義務を公平に負うという意味を持つ。

『責任だの義務だの、なんか面倒くさいぞ。もっと気楽に参加したい！』という声もあるかもしれない。

しかし、のべ50万人にもなる参加者がめいめい好き勝手に振舞ったら誰にとっても楽しめるイベントにはならないし、あっという間に開催できなくなってしまうだろう。

コミケが30年67回も続いてきたのは、参加者全員がお互いに少しづつ気をつけて、少しづつガマンし